

学校番号	4	学校名	沼津聴覚特別支援学校	校長名	庄司 達夫
------	---	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) **教育目標**

自己の障害を理解し、主体的な確かな学びをとおして、情操豊かで自ら社会に参画しようとする子どもを育成する

(2) **校訓**

愛と自由と誠心と

(3) **目指す学校像(学校あいことば)**

「笑顔・通じ合い・つなげる学び」

笑 顔：自分の障害や特性を理解し、自己肯定感を高めると共に、明るく思いやりのある柔軟な心と、たくましく健康な身体を培う。

通 じ 合 い：交流や生活経験等とおして人の考え方や多様性を認め、日本語力、手話力、コミュニケーション力を高める。

つなげる学び：連続した学びの中で、他の学びと関連づけたり他の学びに生かしたりしながら、社会自立につながる「生きる力」を身につける。

(4) **目指す子供像**

- ・自らの障害を理解し、持てる力を伸ばそうと努力し、自立と社会参加に向かう子
- ・心身ともに健康で、互いを認めあえる子
- ・学びを楽しみ、自らの学びにつなげていける子

【育てたい力】

① 障害観	自分の障害に向き合い、できること困難なことなど自己の障害の特性を理解する力
② 障害対応力	自己の障害の特性を踏まえ、社会自立に向けて必要なことを考え、その実現に向け実行する力。
③ 自己肯定観	ありのままの自分に向き合い、自分の存在を肯定的に受け止める力
④ 共生力	相手のことを思いやり、互いに影響を与え合い成長する力
⑤ 知識・技能	学習をとおして学び、身に付けていく力
⑥ 発信力	自分の思いや考えを、様々な方法で外部に伝えることができる力
⑦ 課題解決力	問題点に気づき、解決方法を考えることができる力
⑧ 生活力	日常生活や社会生活に必要な手段、方法を身につける力

(5) **目指す教師像**

- ・互いに助け合い支えあう、信頼される教師
- ・子どもの気持ちを理解し、成長を促すことができる教師
- ・主体的に研修に取り組み、特別支援教育及び聴覚障害教育の専門性向上を続ける教師

(6) **目標具現化の柱**

ア 魅力ある学校づくりプロジェクトの推進

イ 聴覚障害教育の専門性の再確認と向上に向けた取り組み

ウ 安全安心で、信頼され選ばれる学校

(7) **令和4年度重点目標**

- ・ 魅力ある学校づくりプロジェクトによる、社会のニーズに応える学校の強みと魅力の再構築
- ・ 聴覚障害教育の専門性を図り、その専門性に基づく効果的な「つなげる学び、広げる学び」による学力向上（授業改善、ICT活用の推進）
- ・ 社会自立に向けた、生活力や社会性を育てる教育の充実（共生・共育、キャリア教育、地域との連携協働、開かれた寄宿舎）
- ・ 自己肯定感を高め、自らの命と健康を守る、人権教育・安全教育の推進
- ・ 聴覚障害教育における地域のセンター的役割の積極的な発揮

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載） ※教職員には寄宿舍指導員を含む

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	社会のニーズに応える学校の魅力を発信する	学校全体で取り組む「魅力ある学校づくりプロジェクト」により、教職員自身が学校の魅力を再確認し、地域に対して具体的な魅力を積極的に発信し続ける	○学校の強み、魅力について理解し、説明できる教職員 100%	プロジェクト 各学部寄宿舍 総務（情報）
			○ホームページ等により、学校の魅力発信を行う 各ページ毎月更新100% ○学校の様子がわかると答える保護者 100%	
イ	聴覚障害教育の専門性の向上を図り、その専門性に基づく効果的な「つなげる学び、広げる学び」による学力向上	・聴覚障害の専門性向上に資する研修会（自立活動、研究、進路、生徒指導、手話等）を計画的に実施し教職員一人一人の資質を向上させる	○各種専門研修において、いずれかの講師役を担うことができる教職員 70%（新任を除いた割合） ○自身の聴覚障害の専門性について、何がどう高まったか答えられる教職員 100% ○朝打ちでのワンポイント手話の実施を計画的に実施する ○自分の手話力が向上したと答える教員 100%	自立活動課
			・外部講師招聘による全体研修を実施する ・外部の各種専門研修会に参加しその成果について伝達講習を行う	
		・カリキュラムマネジメントに基づく、つなげる学びを実践する	○学年間、教科間でのカリキュラムの確認と、学びをつなげるための打ち合わせの実施 学期1回	各学部
		・障害特性に合わせたICT機器の活用など、「学びがわかる」授業を実施する	○ICT活用など児童生徒にわかるための支援を工夫したと答える教職員 100% ○授業が分かりやすいと答える生徒 100%	教務課 総務課（情報）
イ	社会自立に向けた、生活力や社会性を育てる教育の充実	・地域や専門家との連携協働（警察、消防、S C、ろう者等）した指導支援を行う	○地域や専門家と連携した授業等を計画的に実施した教職員 100%	主事会 各学部 生徒指導課 自立活動課 栄養教諭
		・学部間のつながりがある系統的なキャリア教育の実施	○卒業後の子どもの姿がイメージできると答える保護者 100%	進路指導課

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムマネジメントを踏まえた業務の見直しと、俯瞰的な視野での業務改善の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間外業務月 60 時間以上の教職員 0%</li> <li>○会議時間が短縮したと答える教職員 100%</li> </ul>	企画会 事務部
ウ	自己肯定感を高め、自らの命と健康を守る、人権教育・安全教育を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の不安や心の揺らぎ等に早期に気づき、組織として対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ＳＣなどの活用に効果があったと感じる教職員 100%</li> <li>○学校が信頼できると答える児童生徒 100%</li> </ul>	各学部寄宿舎 養護教諭 カウンセラー
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな災害に対応した安全教育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地震や火災などの災害から自分の身を守る方法が理解できていると答える児童生徒 100%</li> </ul>	生徒指導課 (防災)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学校の生活様式に基づく、感染予防対策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染防止対策を踏まえた行動がとれた児童生徒 100%</li> </ul>	保健体育課 事務部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員・児童生徒が、互いを認め合い、尊重し合う心を大切にした指導支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分や友達の良いところを知っていると答える児童生徒 100%</li> <li>○子どもに思いやりの気持ちを育てる教育ができたと答える教職員 100%</li> <li>○交流及び共同学習が自分にとってプラスになったと答える児童生徒 100%</li> </ul>	生徒指導課 交流推進 人権教育
ウ	聴覚障害教育における地域のセンター的役割を積極的に発揮する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のニーズにこたえるセンター的機能を積極的に発揮する</li> <li>・早期療育につなげる関係機関との連携を強化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市町保健福祉部署との連携 100%</li> <li>○聴覚支援センターとの連携支援の実施</li> </ul>	地域支援 コーディネーター
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○通級指導をうけてよかったと答える通級保護者 100%</li> <li>○通級指導の学びを自身の学習や生活に生かすことができたと答える通級生 100%</li> <li>○学校への支援が効果的であったと答える通級在籍校 100%</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育相談、乳幼児教室での支援をうけてよかったと答える保護者 100%</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校等支援訪問の希望への対応 100% (通級、教育相談、乳幼児)</li> </ul>	